

目次

1. 巻頭言			
カーボンリサイクル技術の推進に向けて			1
	経済産業省 資源エネルギー庁 カarbonリサイクル室	富永和也	
2. 特集 「CO ₂ リサイクル技術の最近の展開」			
(1) CO ₂ リサイクル技術の最近の展開に関する特集に寄せて	成蹊大学	里川重夫	2
(2) CO ₂ 水素化による化学品製造と世界的動向	デルフト工科大学	浦川篤	3
(3) Power to Gas (CO ₂ のメタン化) の技術			9
	日立造船株式会社 熊谷直和、高野裕之、泉屋宏一	東北大学名誉教授・東北工業大学名誉教授 橋本功二	
(4) 合成ガスおよび二酸化炭素からのジェット燃料製造技術の開発			16
	富山大学 崔 焜、浅野伸悟、李 杰、新木裕也、郭 立升、椿範立		
(5) CO ₂ 水素化によるメタノール合成技術	東京大学	多田昌平	25
(6) CO ₂ とH ₂ からの低温メタノール合成	北海道大学	鳥屋尾隆、清水研一	30
3. 解説			
中国の水素エネルギー戦略	伊藤忠商事株式会社	小倉徹	36
4. 資料 「第161回定例研究会 予稿(抜粋)」			
(1) CO ₂ 水素化によるメタノール合成に特化した触媒の創製	東京大学	多田昌平	44
(2) エネキヤリ合成の為に高効率トルエン直接電解水素化電解槽の開発			45
	横浜国立大学	長澤兼作	
(3) 水素の高効率利用のための貴金属複合触媒の開発とそのキャラクタリゼーション			46
	京都大学	佐藤勝俊	
(4) 水素貯蔵材料としてMgを利用するには	関西大学	近藤亮太	47
(5) 次世代燃料電池に向けた高分子ナノファイバー複合電解質膜の開発			48
	首都大学東京	田中学	

5. 会長からのメッセージ	
水素閣僚会議を踏まえて日本の水素社会のあり方と HESS の役割を考える	49
水素エネルギー協会 会長 日本大学 西宮伸幸	
6. 研究室紹介	
触媒化学と化学工学の融合を目指して宇都宮大学・触媒プロセス工学研究室	古澤毅 55
7. 読者の広場	
エア・リキード・ラボラトリーズのご紹介と Air Liquide における水素普及活動について	58
株式会社エア・リキード・ラボラトリーズ 石井千明	
8. 若い研究者の声	
(1) 『リン酸ジルコニウム-アンモニア系の濃度組成等温線と構造の関係』につきまして	60
広島大学 山口匡訓	
(2) 酸化チタンナノ粒子の酸性電解質中での安定性 ～高耐久な固体高分子形燃料電池の本格的普及に向けて～	62
横浜国立大学 北村祐仁	
9. 会告	
◆事務局からのお知らせ	63
◆本会の概要、会則	65
◆組織	73
◆団体会員（連絡先）	74